



きずな 絆

小美玉市まちづくり組織連絡会広報紙

発行：小美玉市まちづくり
組織連絡会
編集：広報部会

第 5 号
令和 2年 7月 22日

自分たちのまちは自分たちで つ・く・る
～個性あられる住民主体のまちづくり～



小美玉市
まちづくり組織連絡会
会長 羽鳥 敏政

現在、世界的に猛威を振るっている新型コロナウィルスの影響により、多くの行政区・まちづくり団体は、イベントや事業の規模縮小や延期・中止の判断をせざるを得ない状況となり、苦しい日々が続いていると思われま

す。しかし、このような状況だからこそ、今年度はこれまで築き上げてきたまちづくり組織の「絆」や「住民自治の力」を最大限に活かし、皆さんの知恵を出し合い一丸となつて、この危機を乗り越えていかなければならないと考えておりますので、深いご理解とご協力をお願いいたします。



令和2年度 小美玉市まちづくり組織連絡会役員

役職名	氏名	組織名
会長	羽鳥 敏政	玉里小学校区コミュニティ
副会長	稲田 弘	竹原地区コミュニティ
副会長	山西 弘一郎	百里ブルー클럽
幹事	鶴町 庄二	元気な玉里北小区をつくる会
幹事	磯辺 寛	住みよい堅倉地区をつくる会
幹事	島田 清一郎	こころふれあう羽鳥の会
幹事	鈴木 進悟	納場地区コミュニティ
幹事	藤田 泰正	玉川地区コミュニティ
幹事	高野 晴夫	さわやかな野田をつくる会
幹事	久保庭 裕一	上吉影小学校区コミュニティ
書記	真家 悦子	話し方教室
書記	西 久雄	十二所区
会計	大塚 好蔵	山野区
会計	鈴木 孝幸	上吉影区
監査	吉倉 一郎	第二東宝区
監査	吉澤 春峰	NPO 法人全日本美術家作品保管協会
広報部長	花山 俊夫	こころふれあう羽鳥の会

認定団体数 60団体
(令和2年7月1日現在)
学区コミュニティ 9団体
テーマ型 17団体
まちづくり委員会 34団体

【お問合せ】

事務局：市長公室 市民協働課内
〒319-0192
小美玉市堅倉835
TEL 0299-48-1111(内線1253)
FAX 0299-48-1199
<http://www.city.omitama.lg.jp/>
フェイスブック：小美玉市役所 市民協働課

令和2年度事業計画

- まちづくり活動についての意見交換
まちづくり認定組織活動報告会
- まちづくりに関する情報・資料等の収集、提供
① 会員向け情報提供(各助成事業、先進地事例の研究)
② 市民向け情報提供(市広報紙、市HP、市民協働課FB)
- 会員の資質向上を目的とする活動
研修会(先進地視察、会員研修)
- まちづくり活動に関する行政と協力体制の構築
定期的な役員会の開催(年6回)
- その他連絡会の目的の達成に必要な活動
広報部会による各コミュニティの情報発信のための人材育成(パソコン塾、広報紙「絆」2回発行)



＜玉里小学校区コミュニティ＞

今年は、新型コロナウイルスの影響により、「総会」と「地域交流まつり」が中止となりました。今後の予定は、秋に「ソフトボール大会」「世代間交流球技大会」を開催する予定です。又、当コミュニティでは、高崎地区で行っている「花の香る里づくり事業」を後援しています。霞ヶ浦湖岸に、春は「菜の花」 秋は「コスモス」が咲き、地域の方々や湖岸を通る人々の心を和ませています。

【会長 羽鳥 敏政 記】



＜納場地区コミュニティ＞

1月26日(日)恒例の「白鳥を観る集い」を部室コミュニティセンター駐車場で開催しました。島田市長はじめ多くのご来賓を迎えての開会式の後、約百名の係員が会場設営・餅つき・豚汁・綿菓子・ポップコーン・ゲーム等の準備。参加された全ての方々に11時から振る舞うことができました。食事の合間には、OMT-JAPANのパフォーマンスを楽しんだり、池花池付近の川で捕獲した水生生物の観察も行いました。

【会長 鈴木 進悟 記】



＜こころふれあう羽鳥の会＞

新型コロナウイルスへの対策として「新しい生活様式」の実践をすすめて頂こうと、6月1日(月)羽鳥小学校へマスク小560枚、大30枚を寄付しました。これは、当会の呼びかけに応えた「羽鳥地区防災士会」が、5月17日(日)新会員の歓迎会とマスク作り(新役員の安達さん発案)研修会を実施、1人80枚を分担し作成したものです。

【会長 島田 清一郎 記】



【佐才区】地域の絆を大切に

諸先輩が作り上げた良き伝統文化を大切に、常に助け合いの精神をモットーに取り組んでいます。毎年開催されるお祭り、3世代交流会、敬老会等で、年齢問わず交流を深め皆で楽しんでいます。毎週日曜日には、4人から5人のグループに分かれゴミ置き場の掃除、公民館の清掃を行い、常に整理整頓を心掛け、公共物を大事にすると共に、絆を深めています。

【区長 伊藤 実 記】



【中台東「ホトメの里」の会】

令和2年1月にホトメの里の広場で地域住民を招待し、正月行事のひとつ、どんど焼きを行いました。小さい常会でこの様に大勢集まることは滅多にないことです。正月飾りやしめ縄を持ち寄り焚き上げは、痛快でした。篠の先に餅を刺し焚いて食す様子を高齢者の方々には昔を思い出し喜んでもらいました。隣接の障がい者支援施設の方も加わりよく出来ました。

【会長 長谷川 忠徳 記】

【編集後記】 これまででない日々が続いています。市ふるさとふれあいまつりも 石岡をはじめ各地の祭りも早々と中止が決定しました。海水浴も我慢です。暫くは天が与えてくれた充電期間です。来たる時に備えて構想の翼を磨きましょう。♪～あんな時代もあっ～たねと きっと笑える日がくるさ～♪ (頑張りましょう)

【広報部：齊丸 章 記】